

第1回「(仮称)八王子市町会・自治会等の活動活性化の
推進に関する条例」策定検討会 議事録

日時：平成30年6月28日(木)18時30分～

場所：八王子市役所 7階 702会議室

1. 次 第

- 1 市民活動推進部長あいさつ
- 2 検討会の進行及び運営について
- 3 委員の紹介
- 4 座長の選出
- 5 検討内容及び条例策定のスケジュールについて
- 6 事務局報告
 - ア 八王子市の町会・自治会等の現状
 - イ 町会・自治会等実態アンケートについて
 - ウ 町会・自治会等に関する、他市等の類似条例について
- 7 質疑・意見交換
- 8 その他
 - ・次回の検討会開催について
 - ・事務連絡

2. 出席者

- ・川村委員、小室委員、進邦委員、田島委員、西田委員、黄委員（五十音順）
- ・市民活動推進部長、協働推進働推進課長、協働推進働推進課職員 6 名

3. 配布資料

- 資料 1 (仮称)八王子市町会・自治会等の活動活性化の推進に関する条例策定検討会委員名簿
- 資料 2 (仮称)八王子市町会・自治会等の活動活性化の推進に関する条例策定検討会設置要綱
- 資料 3 検討内容及び条例策定のスケジュール
- 資料 4 町会・自治会等の位置付けに関する条例制定要望書
- 資料 5 八王子市の町会・自治会等の現状
- 資料 6 町会・自治会等実態アンケートの結果（抜粋）
- 資料 7 町会・自治会等実態アンケートの結果（全体）
- 資料 8 町会・自治会等に関する、他市等の類似条例について

【午後6時30分開会】

- 協働推進課長・第1回「(仮称)八王子市町会・自治会等の活動活性化の推進に関する条例」策定検討会を開始する。
 - ・本検討会の進行は、本来、座長にお務めいただくが、座長が決定するまでの間、事務局にて進行する。

1 市民活動推進部長あいさつ

- 市民活動推進部長・昨年100周年を迎え、様々な行事で多く言われていた言葉が、「市民力」「地域力」。町会自治会の活動や下支えがベースにあったと思われる。
 - ・町会自治会連合会からも、町会自治会の活動を活性化するために、市長宛に要望書をいただいている。
 - ・101年目の第一歩を踏み出す時に、町会自治会を活性化するための条例が必要と判断した。
 - ・様々な分野から忌憚のない御意見をいただき、内容のある条例にしたいと考えている。(事務局紹介)

2 検討会の進行及び運営について

- 協働推進課長・本日の会議は、定員6名に対し、欠席0名で、本検討会は有効に成立している。
 - ・本検討会は、『八王子市市民参加条例』第9条第3項の規定に基づき、原則公開となっている。
 - ・会の資料及び会議録も原則公開。委員名簿も含め、本市のホームページに掲載するので了承願いたい。
 - ・名簿は検討会や審議会などの附属機関に係る事務を所掌している、総合経営部広聴課に提出し、本市の他の附属機関委員への重複就任等の確認に使用することも了承願いたい。
 - ・会議録は、事務局で作成する。会議での発言を録音し、その録音データをもとに要点をまとめた会議録を作成する。ホームページに掲載をする会議録は、委員の名前は伏せて公開する。
- 事務局 (配布資料の確認)
- 協働推進課長・本日の検討会の傍聴希望はなし。
 - ・途中で傍聴希望者が来た場合、傍聴を許可してよいか。
「異議なし」

3 委員の紹介

- 協働推進課長・委員に自己紹介をお願いします

4 座長・副座長の選出

- 協働推進課長・座長及び副座長を互選により選任することとなっている。立候補や推薦等はある

か。

- 委員
 - ・進邦教授でいかがか。
- 協働推進課長
 - ・進邦教授は、本市の市民参加推進審議会の第3期、第4期の会長を務め、本市の町会・自治会をはじめ、地域コミュニティにも詳しく、座長に推薦したいがどうか。
 - (承認)
- 座長
 - ・副座長の選出について、互選により定めるとされている。立候補や推薦等あるか。
 - ・無いようなので、座長一任でよいか。
 - (異議なし)
 - ・副座長は、小室委員でいかがか。
 - (異議なし)
 - ・副座長は、小室委員に願う。

5 検討内容及び条例策定のスケジュールについて

- 座長
 - ・議事の5と6の報告を受け、現状についての情報を委員の皆さんと共有するところから始めたい。
 - ・その後、質疑や意見交換を行いたい。
- 事務局
 - ・資料4の要望書を受け、資料3の条例策定の基本的な考え方に至った。
 - ・これまでの市民参加推進審議会の答申を踏まえ、市民参加の先にある市民自治の推進につなげたいと考えている。
 - ・町会自治会の活動は、防犯、防災活動に加え、小学校や中学校の運営に地域の方々に参加する地域運営学校の学校運営協働推進議会のメンバーとして、多くの町会長に関わっていただいている。
 - ・地域課題を自ら解決する活動によって地域の活性化を進めるために、町会自治会の役割や位置づけ、町会自治会への加入、参加を促進する条例の策定のため、本検討会の設置に至った。
 - ・要望書を出された思いや補足はあるか。
- 委員
 - ・町会自治会は、最大の担い手として過去より担ってきたという自負がある。
- 事務局
 - ・検討内容は、条例が目指すべき方向性、条例に盛り込むべき基本的事項、条例素案の原案の三点。
 - ・スケジュールについて、条例の施行は平成31年4月を予定している。
 - ・検討会は3回を予定。
 - ・第2回検討会までの間に、広聴課が実施している。無作為抽出の市民委員制度を活用し、町会自治会をテーマにしたワークショップを実施し、第2回検討会のテーマとしたい。

6 事務局報告

- 座長
 - ・事務局より報告願う。

- 事務局
 - ・資料5について、住民基本台帳による世帯数は、微増している。町会自治会への加入世帯数は、減少している。
 - ・町会への加入率は、平成元年には約80%あったが、本年6月は57.25%となっている。
 - ・加入率は、26市では一番高い。
 - ・住民基本台帳の世帯数は、学生の単身世帯や老人ホームなどの施設入所者、外国人世帯など、八王子市に住民登録を置くすべての世帯数となっている。
 - ・6月15日号の広報はちおうじの町会自治会特集号では、写真を多く掲載して活動を分かりやすく紹介した。
- 委員
 - ・特集号は、自分の住んでいる地域の事ですら、分かっていないことが多い中、他の地域では、こんなに良いことが行われているのだとよく分かるので、続けるべき。
- 事務局
 - ・資料6については、アンケート結果の中から検討会資料として抜粋したもの。全てのアンケート結果は資料7。
 - ・回答率は、68.9%
 - ・会員の加入促進を特にしていないと回答している団体の多くは、集合住宅などで、全員加入が入居の条件となっているとの回答が多かった。
 - ・町会活動に関する自由記述は、回答の多かったものについて、高齢化、役員のなり手、町会加入のメリット、行政への要望の4つに分類した。
 - ・資料8について、町会自治会に関する条例を施行している他の事例を参考にまとめた。
 - ・中核市では、行政と町会連合会、不動産関係の協働推進会との三者間で協定を結んでいる自治体があった。

7 質疑・意見交換

- 座長
 - ・これまでの報告で質問があればどうぞ。
- 委員
 - ・住民基本台帳に含まれている単身世帯の学生数、施設入居者数は把握しているか。
- 事務局
 - ・不明である。
- 座長
 - ・大学がある地域では、学生寮が多くあり、加入率は低くなる印象はある。
- 委員
 - ・学生への加入の募集の働きかけはしているのか。
- 事務局
 - ・学生へのアプローチはしていない。逆にどのようなアプローチをすることで、町会に加入をしたいと思いますか。
- 委員
 - ・メリットがあれば加入したい。会費があるので加入しないかもしれない。特集号の楽しそうなお祭りを見て加入したいと思う人もいるかもしれないので、定期的に特集号を発行したり、新入生のガイダンスなどで配付したりするのも良い。
- 事務局
 - ・町会によっては学生と一緒に防災訓練を実施し、ハザードマップを作成したりしている。

- 委員 ・ 実際ですぐ勧誘ということではなく、ハードルを低くするのも良いかもしれない。
- 事務局 ・ 複数の町会が合同で行う夏祭りに学生がボランティアとして参加しているところもある。
- 委員 ・ 都営住宅やマンションに皆が加入するようなシステムができないだろうか。
- 事務局 ・ マンションの場合は購入の際に加入を義務付けることはできるが、強制加入をさせるとなると難しい。
- 委員 ・ 戸建ての場合は順番で役員が回ってくるようになっている。同じ班の中で加入していない場合は会長や役員がチラシを持って加入のお願いに伺っている。
- 委員 ・ 会員名簿と会費を徴収する名簿を分けている。身体障がい者の方や生活保護を受けている方は金銭的な負担をかけないよう会費を免除しているが、行政からのお知らせである回覧は回すようにしている。
- 座長 ・ 強制加入は難しい。PTA も最近では強制加入をするのは難しいとされている。町会の機能があると思うが、切り分けをするのは難しい。学生の加入というお話しがあったが、マンパワーとして、学生の活躍が期待できるのではないか。学生も地域で育てていただくという側面もあるので、学生を取り込んでいくのが良い。学生料金というような形で会費を設定していただくとか、学生は無料にして参加してくれるだけで良いとかしてもらえるとありがたい。そうすると学生も八王子市に親しみを持てるし、そのまま八王子に残ってくれる可能性もある。
- 委員 ・ 各地域の代表が理事となるように、規約を変更した。子ども会の比較的年齢の若い方を自動的に町会の理事とした。また、シニアクラブ、民生児童委員の代表も理事とした。10年前からそれをする事によって若返りを図ることができた。
- 座長 ・ 町会というシニア世代の方が中心になるというイメージが強い。その中で多世代協働の形を作られたことはすばらしい。こういう取り組みの特徴は町自連で共有されているのか。
- 委員 ・ 共有はされている。
- 委員 ・ 青年部で新しいことをやろうと良い意見があっても否定されることがある。理由を聞くと、2世代以上住んでいないのでダメだとなった。だいぶ時代遅れのようなことを言っている部分が残っていたが、現在はこの部分を払拭した。
- 委員 ・ 40年前に引っ越してきたが、「新しい人」と呼ばれている。元々地域にお住まいの方と、引っ越して来た方とでは壁を感じる。
 ・ 昔は、新しく引っ越して来た方が町内会に入らないと、町会長が来て「どうですか」とお誘いがあったが、新しい方は入っていない現状がある。
 ・ 町会と子供会やシニアクラブがそれぞれ別組織であることを、本日初めて知った。それぞれ別々の団体が活性化することで、地域の活性化につながるのだと思う。
- 委員 ・ 子どもが少ない中心市街地では、子ども会の存続が厳しいので、1つの地域に呼んで来て入ってもらっている。

- 委員 ・地域ごとに抱えている課題が異なるので、同じことをしても解決にはつながらないのがわかった。
- 委員 ・地域ごとに異なることは確かだが、事柄自体は変わらない。地域による課題の重要度が異なるだけだと認識している。
- ・高齢者が多い地域では、単身高齢者も多数いる。その地域では、一人の民生委員が300世帯で750人前後の方がいるので、見きれていない現状がある。
- ・その現状を改善するために、定期的に地域活動を行っているところでは、連絡をしないで欠席した方には声掛けを行い、安否確認している。
- ・新しい方が来る地域でも、その方を取り込んでコミュニティを築こうと努力すれば、町会の半分が新しい方で理事を担ってもらっている町会もある。新しい方とは、業務分担を行い、パソコンで作成する物などを担ってもらっている。
- 委員 ・いろいろな意見がある中でも、やはり町会の役員は大変だと思う。
- 委員 ・町会の中でもイベントや会計などいろいろな仕事があるので、それぞれのプロを育成する必要がある。組長や班長から良い人材を選出している。
- 委員 ・輪番制で役員をやっている、役員をやったからこそ役員の苦勞がわかる。地域住民が役員を順番に全員やれば、みんなでやろうという気持ちになるのでは。
- 委員 ・高齢化に伴い、定年の年齢が引き上がったため、町会の仕事を頼みづらくなっている。給料の引き下げなどもあり、60歳以上65歳の人たちの生活が大変で、町会活動に参加しづらい状況である。
- 事務局 ・視点を変えて、外国人市民の視点から、日本の町会自治会制度をどう思うか
- 委員 ・町会自治会だけではなく、団体に加入するとしたら目的がある。自分の得たい目的があれば入ると思う。
- ・活発に活動している町会は「吸引力」がある。そういった町会では、活動内容がわかれば入ると思うが、そうでなければお金もかかるし入らないと思う。
- ・子ども会などの他の団体への加入をきっかけにして町会に入る例もある。
- ・町会長をしていた知人は、大量の仕事があるボランティアと言っていたが、良い経験にはなったようだ。マンションの管理組合の理事や学校の役員のように、大変で面倒だがやれば自分のためになることもある。参加してみることが大事なのではないか。
- 事務局 ・学生の立場から、どんな町会のイベントなら参加しやすいか
- 委員 ・町会に入るのであれば、学割（学生会費無料等）があればいいと思う。
- ・イベントの運営補助や取材、記事の執筆をしてみたいという学生がいるので、町会の活動の中で自分のやってみたいことに参加できればいいと思う。
- ・学割と合わせて、自分のやってみたいことができるのであれば、町会に入るのではないか。以前に情報誌の発行で道の駅を取材したときには、メンバーも増えた。
- 事務局 ・学生にイベントに出てもらい、記事にしてもらって、町会の活動をPRしてもら

うのがよいのでは。

- 委員 ・ 町会役員の方は仕事量が多いが日中仕事をされている。大学生は空いている時間もあるので役員に代わって仕事をできれば win-win な関係を築けるのではないか。
- 座長 ・ 学生に入ってもらえれば、役員の方はシニア世代で学生が孫世代なので、町会活動の励みになる。
・ せっかくの学園都市なので、連携が取れると良い。
- 事務局 ・ 学生に加入してもらうためには、働きかけも必要。
- 委員 ・ 会議に出席するため他の学生に町会について聞いたが、そもそも「町会って何」から話が始まった。上京してきたときに、町会の存在を知らなかったので、大学1年のころから、町会の存在と活動を知らせれば、加入する人は増えるのでは。
- 座長 ・ 地域活動をやりたい、地域活動が好きだという学生が増えているので、そういった学生が加入する可能性は高い。
- 委員 ・ 学校の施設（ボランティアセンターなど）を利用して、学生に周知できるとよい。
- 座長 ・ 色んな形でいろんな方が入ってきてくれると良い

8 その他

- 事務局 (検討会の日程調整・事務連絡)

【午後8時30分閉会】